

安全データシート(SDS)

1. 製品および会社情報

会社名 : 昭石化工株式会社
住 所 : 東京都港区台場 2-3-2 (担当部門：営業部)
電話番号 : 03-5531-7063 (Fax03-5531-6811)

製品名 ノンスリップ仕上げ用フィラー

2. 危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体 : 分類対象外
急性毒性 経口 : 分類できない
経皮 : 分類できない
吸入 (蒸気) : 分類できない
皮膚刺激・腐食性 : 分類できない
眼損傷性・眼刺激性 : 分類できない
感作性 呼吸器 : 分類できない
皮膚 : 分類できない
生殖細胞変異原性 : 分類できない
発がん性 : 分類できない
生殖毒性 : 分類できない
特定標的臓器・全身毒性(単回暴露) : 分類できない
特定標的臓器・全身毒性(反復暴露) : 分類できない
吸引性呼吸器有害性 : 分類できない
水生環境有害性 (急性) : 分類できない
水生環境有害性 (慢性) : 分類できない

* 記載がないものは分類対象外または分類できない。

GHSラベル要素

絵文字またはシンボル : なし

注意喚起語 : なし

危険有害性情報

有害性 : 情報なし

環境影響 : 現在のところ有用な情報なし

化学物質等の分類 (日本方式) : 分類基準に該当しない

危険性(物理的・化学的) : 不燃性であり、取扱い上危険な製品ではない。こぼれた場合、粉じんとして空気中に浮遊することがある。その結果、眼が刺激されることがある。

特定の危険有害性 : 情報なし

注意書き

安全対策

- ： 使用前に取扱説明書を入手すること。
- すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
- 粉じん／ミスト／蒸気等の吸引を避けること。
- 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
- 指定された個人用保護具を使用すること。
- 使用後はよく手を洗うこと。

救急処置

- ： 火災の場合には、消火に粉末、二酸化炭素、泡消火器を使用すること。
- 飲み込んだ場合は、水で口の中を洗い、直ちに医師の診断を受ける。可能ならば吐き出させる。
- 皮膚または髪に付着した場合は、直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと／取り除くこと。
- 多量の水と石けんで洗うこと。
- 吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当を受けること。
- 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当を受けること。
- 暴露または暴露の懸念がある場合、医師の診断／手当を受けること。

保管

- ： 容器を密栓して、直射日光、雨水を避け、換気の良い場所で施錠して保管すること。

廃棄

- ： 内容物や容器は、国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

- 単一製品・混合物の区分： 混合物
- 化学名（一般名／別名）： パーライトの微小中空球体（ウレタン塗膜防水粗面仕上げ用骨材）
- 成分及び含有量：

成分名	含有量 (%)	化学式	CAS No.	官報公示整理番号	PRTR 法
パーライト	100	SiO ₂	93763-70-3	化審法 — /安衛法 該当	該当せず

4. 応急処置

- 目に入った場合： 直ちに大量の清浄な流水で 15 分以上洗う。洗眼の際、まぶたの裏や眼球の隅々まで完全に洗うこと。直ちに医師の手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合： 多量の水と石鹸でよく洗い流す。汚れた衣類は取り除く。必要な場合は、医師の診察を受ける。
- 吸入した場合： 新鮮な空気の場所に移し、安静にする。多量に吸引した場合は、医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合： 誤って飲み込んだ場合には、水で口の中をよく洗浄し、直ちに医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火剤： 不燃物質であるため、製品による火災は起こらない。
- 特定の消火方法： 不燃物質であるため、必要としない。
- 消火を行う者の保護： 不燃物質であるため、必要としない。
- 火災周辺の措置： 不燃物質であるため、必要としない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	： 作業の際には適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項	： 屋外に散乱した場合は、風などで飛び、周辺に飛び散るので、速やかに集めて処分する。
除去方法	： 袋などの入れ物に回収し、安全な場所に移す。
二次災害の防止	： 廃棄物などは、関係法規に基づいて処理をすること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	： 換気の良い場所で取扱う。容器はその都度密栓する。 製品を運搬または貯蔵するときは、容器の損傷のないことを確認する。
取扱者の暴露防止	： 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面等の保護具を着用する。取扱い後は、洗顔、手洗い及びうがいを十分に行う。
安全取扱注意事項	： 眼に入らないように適切な保護具を着用する。直接、眼や皮膚に触れないように、長時間吸入しないように留意する。

保管

技術的対策（保管条件）	： 製品を貯蔵、保管するときは一定の場所を定め、直射日光や水濡れの恐れのない場所を選ぶ。
-------------	--

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	： 取扱い場所の近くに手洗い・洗眼の設備を設け、その位置を表示する。粉じんが作業場の空気を汚染しないように、全体換気を適正に行うことが望ましい。状況に応じ保護具を着用する。
管理濃度	： 3.0mg/m ³ /1.19×Q+1（労働安全衛生法・作業環境評価基準）
許容濃度	： パーライト 第一種粉じん 日本産業衛生学会勧告値 0.5mg/m ³ （吸入性粉じん） 2mg/m ³ （総粉じん） ACGIH TWA 10mg/m ³
適切な保護具	
呼吸器系の保護	： 必要に応じて防じんマスクを着用する。
手の保護具	： 必要に応じて保護手袋を着用する。
目の保護	： 必要に応じて側板付き普通眼鏡型を着用する。
皮膚及び身体の保護具	： 必要に応じて長袖静電気防止作業衣、安全靴を着用する。
適切な衛生対策	： 作業後、手をよく洗い、うがいをしてから喫煙、飲食等をする。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	形状	： 粉末
	色	： 白色～淡褐色
臭気		： なし
PH		： 7.4～7.8
融点／凝固点		： 1260～1350℃（融点）
引火点		： データなし（製品）
発火点		： データなし
爆発特性		： データなし
蒸気圧		： 該当せず
蒸気密度		： データなし
比重		： 0.8～1.0
溶媒に対する溶解性		： 水に不溶、フッ化水素、強アルカリに可溶
カクテル／水分係数		： データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	: 常温、単独では安定である。
反応性	: なし
避けるべき条件	: 直射日光、雨水を避ける。混触危険物質との接触を避ける
混触危険物質	: 水分類との混触を避ける
危険有害な分解生成物	: なし

11. 有害性情報

引火性液体	: 情報なし
急性毒性	: (経口) 7日系 LD50 5000mg/kg、混合物として区分外に分類 (経皮) データ不足のため分類できない (吸入) データ不足のため分類できない
皮膚腐食性/刺激性	: データ不足のため分類できない
眼損傷/眼刺激性	: データ不足のため分類できない
感作性	: (皮膚) 情報なし (呼吸器) 情報なし
発がん性	: データ不足のため分類できない
生殖細胞変異原性	: データ不足のため分類できない
生殖毒性	: データ不足のため分類できない
特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)	: データ不足のため分類できない
特定標的臓器・全身毒性(反復暴露)	: データ不足のため分類できない
吸引性呼吸器有害性	: データ不足のため分類できない
催奇形性	: 情報なし

12. 環境影響情報

生体毒性	: 水性環境有害性; 水に対する溶解性が極めて低く、溶解温度以下では有害影響はないと推定。 ・水生環境急性有害性; 分類できない ・水生環境慢性有害性; 分類できない
残留性、分解性	: 現在のところ有用な情報なし
生体蓄積性	: 現在のところ有用な情報なし
土壌中の移動性	: データなし。
他の有害影響	: データなし。

13. 廃棄上の注意

以下の情報を参考に分類の上、許可を受けた専門業者に処理を委託する。詳細は法律（廃掃法及び容器包装リサイクル法）に従う。

容器・包装の廃棄	: 空容器類を廃棄するときは、内容物を完全に除去した後に産業廃棄物として処理または回収する。 () に管理型・安定型の区分を示す。 外箱、紙管など紙製容器・包装: 回収または紙くずとして処理。(単体で管理型産業廃棄物、付着成分がある場合も管理型産業廃棄物) 金属缶、金属ドラム、金属チューブ類: 金属くずとして処理。(単独で安定型産業廃棄物、付着成分がある場合はその安定型・管理型分類に従う。) プラスチック製のボトル、チューブ、袋など: 廃プラスチックとして処理(単独で安定型産業廃棄物、付着成分がある場合はその安定型・管理型分類に従う。)
----------	--

14. 輸送上の注意

輸送の特定の安全対策及び条件	: 取扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従うこと。 容器の漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に 行うこと。
陸上	: 消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に 従うこと。
海上	: 船舶安全法に定めるところに従うこと。
航空	: 航空法に定めるところに従うこと。
国連番号・分類	: 該当せず

15. 適用法令

法規制	: 化学物質管理促進法（PRTR 法）の該当については3. 組成、成分情報内に示す。 労働安全衛生法 57 条の2 第1項 通知対象物； 3. 組成、成分情報内に示す。 安衛法；粉じん障害防止規則 作業環境測定法 じん肺法；第2条施行規則第2条 別表粉じん作業に限る
-----	--

16. その他の情報

引用、参考文献	: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE)ホームページ GHS 分類結果データベース 日本工業規格 JIS Z 7252:2014 GHS に基づく化学物質等の分類方法 国連 GHS 文書 改訂5版 (2013) 日本工業規格 JIS Z 7253 : 2012 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 原料メーカーの MSDS 国際化学物質安全カード(I C S C) 製品安全データシートの作成指針(改訂版) 日本規格協会(平成 13 年 10 月) 危険物船舶運送及び貯蔵規則 14 訂版 海文堂
含有量表示基準	: PRTR 指定物質及び劇毒物は有効数字 2 桁。労安通知物質その他は 5%刻みの未満表示 (10%未満の場合は 1%刻み) で表す。

- ・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。
なお、新しい知見により改訂されることがあります。
- ・危険、有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意してください。
- ・注意事項は通常の実施を前提としたものです。特別な取扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願
います。また、本製品を本来の用途以外に使用しないでください。